

SPACE SHOWER SKIYAKI HOLDINGS

2026年3月期 通期 決算説明資料

2026/5/14

スペースシャワーSKIYAKIホールディングス株式会社
東証スタンダード：4838

SPACE SHOWER SKIYAKI HOLDINGS

1. エグゼクティブサマリー
2. 2026年3月期 通期連結業績
3. 2027年3月期 業績予想
4. 中期経営計画の定量目標改定について
5. 通期事業トピックス
6. 会社概要

1. エグゼクティブサマリー

売上高

5,431 百万円 4Q実績 +4.2% 前年同四半期比
 22,858 百万円 通期実績 +10.8% 前期比

営業利益

219 百万円 4Q実績 +34.8% 前年同四半期比
 1,957 百万円 通期実績 +123.0% 前期比

親会社株主に帰属する 当期純利益

151 百万円 4Q実績 +2,047.2% 前年同四半期比
 1,197 百万円 通期実績 +316.6% 前期比

EBITDA

379 百万円 4Q実績 +16.8% 前年同四半期比
 2,576 百万円 通期実績 +70.5% 前期比

※ EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額

2026年3月期通期業績予想と実績の差異



2026年3月期の実績については、年間を通じたコンテンツセグメントにおけるライブ事業・アーティスト事業の収益性向上に加えて、ソリューションセグメントにおけるプラットフォーム事業が4Qに収益を拡大した結果、2026年2月13日公表の「業績予想の修正及び配当予想の修正」を上回る形となった。これに伴い、1株当たり年間配当金についても、前回発表の24円に対して1円増加の25円を予定。

(単位：百万円)	2026年3月期 通期業績予想 (2026/2/13公表)	2026年3月期 通期実績	増減額	増減率	前期実績
売上高	22,000	22,858	+858	+3.9%	20,637
営業利益	1,900	1,957	+57	+3.0%	877
経常利益	1,940	2,004	+64	+3.3%	889
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,170	1,197	+27	+2.4%	287
1株当たり当期純利益	71円64銭	73円14銭	-	-	17円26銭
EBITDA	2,530	2,576	+46	+1.8%	1,511
1株当たり年間配当金	24円	25円	+1円	-	13円

前項の通り、今期業績は2026年2月13日公表の「業績予想の修正及び配当予想の修正」を上回る形となったため、1株当たり年間配当金についても、前回発表の24円に対して1円増加の25円を予定。自己株式の取得に関する進捗状況は以下の通り。

年間配当金

	中間	期末	合計
2024年3月期	-	10円	10円
2025年3月期	-	13円	13円
2026年3月期	-	25円	25円

自己株式取得進捗

	取得期間	株式数	取得価額総額
2025年11月13日公表	2025年12月1日～ 2026年11月30日	上限 200,000株	上限 200,000,000円
取得実績	2025年12月～ 2026年3月	87,800株 達成率 43.9%	69,079,900円 達成率 34.5%

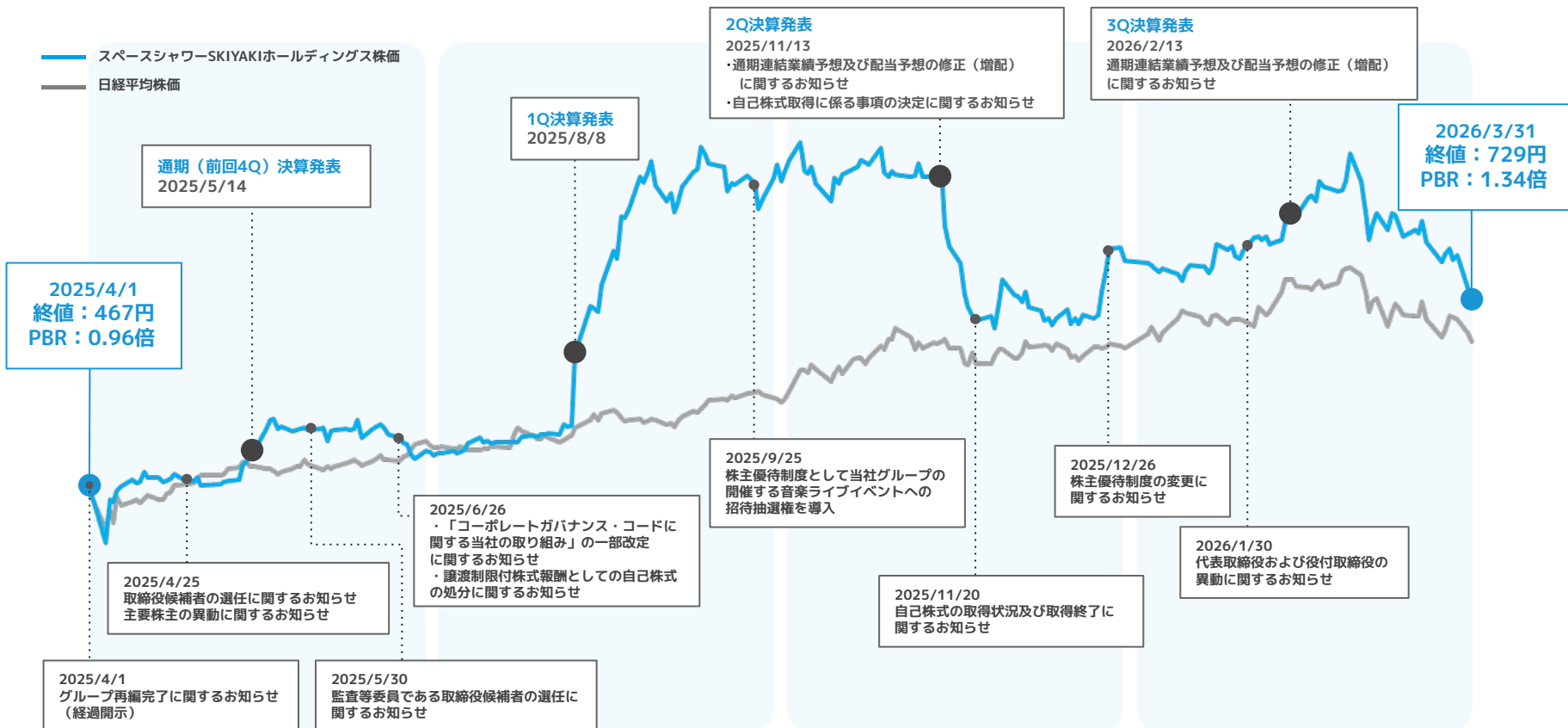
※中期経営計画期間中（2024年12月から2026年3月）

- ・ 累計取得株式数 : 483,900株
- ・ 累計取得価額 : 269,079,900円

株価の年間推移



全体的な市況として日経平均株価が上昇傾向にある中で、好業績が株価を牽引したことに加え、継続的な自己株式取得が株価を下支えし、年度末時点での株価（729円）は期初の株価（467円）を大きく上回る結果となった。なお、PBRは期初の0.96倍から1.34倍まで上昇し、1倍を上回る水準へと改善。



2. 2026年3月期 通期連結業績

2026年3月期業績サマリー



売上高は4Q会計期間で5,431百万円、通期で22,858百万円となり、前年比は会計期間で+4.2%、累計期間で+10.8%の増加となった。営業利益及び経常利益については、コンテンツセグメントにおけるライブ事業・アーティスト事業、ソリューションセグメントにおけるプラットフォーム事業の躍進により、4Q会計期間で219百万円及び212百万円、通期で1,957百万円及び2,004百万円となり、営業利益の前年比は会計期間で+34.8%、通期で+123.0%増加し、業績は大きく伸長した。

(単位：百万円)	2026年3月期 4Q会計期間 (2026年1月-2026年3月)					2026年3月期 通期 (2025年4月-2026年3月)		
	実績	前年同四半期 (前期4Q)		直前四半期 (当期3Q)		実績	前年同期 (前期)	
		実績	YoY	実績	QoQ		実績	YoY
売上高	5,431	5,209	+4.2%	5,522	▲1.7%	22,858	20,637	+10.8%
売上総利益	1,536	1,360	+12.9%	1,564	▲1.8%	6,815	5,468	+24.6%
営業利益	219	162	+34.8%	398	▲44.8%	1,957	877	+123.0%
経常利益	212	165	+28.3%	410	▲48.1%	2,004	889	+125.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	151	7	+2,047.2%	245	▲36.0%	1,197	287	+316.6%
EBITDA	379	324	+16.8%	555	▲31.8%	2,576	1,511	+70.5%

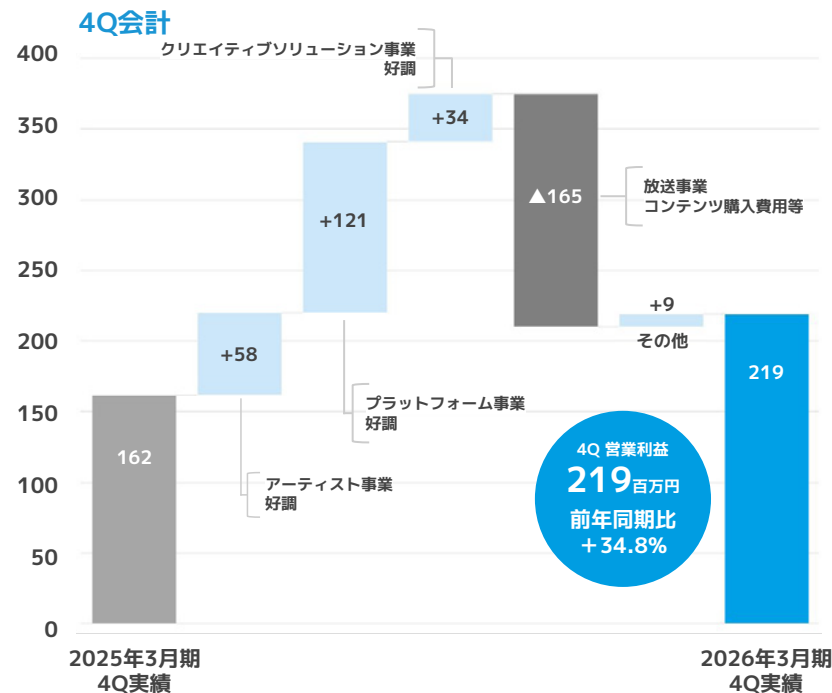
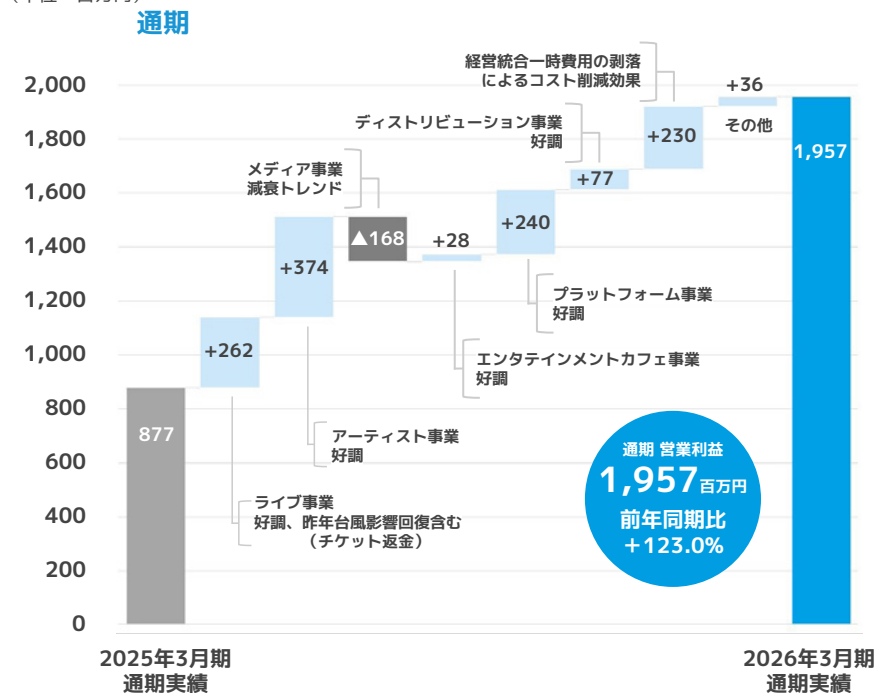
利益の増加要因



営業利益を通期で比較すると、コンテンツセグメントにおけるライブ事業（+262百万円）、アーティスト事業（+374百万円）の好調に加え、ソリューションセグメントにおけるプラットフォーム事業（+240百万円）、ディストリビューション事業（+77百万円）の好調、全社的な経営統合一時費用の剥落効果（+230百万円）もあり、前年同期比+123.0%増の1,957百万円となった。

また、会計期間の比較においては、アーティスト事業（+58百万円）、プラットフォーム事業（+121百万円）、クリエイティブソリューション事業（+34百万円）の好調が利益を牽引し、前年同期比+34.8%増の219百万円となった。

(単位：百万円)



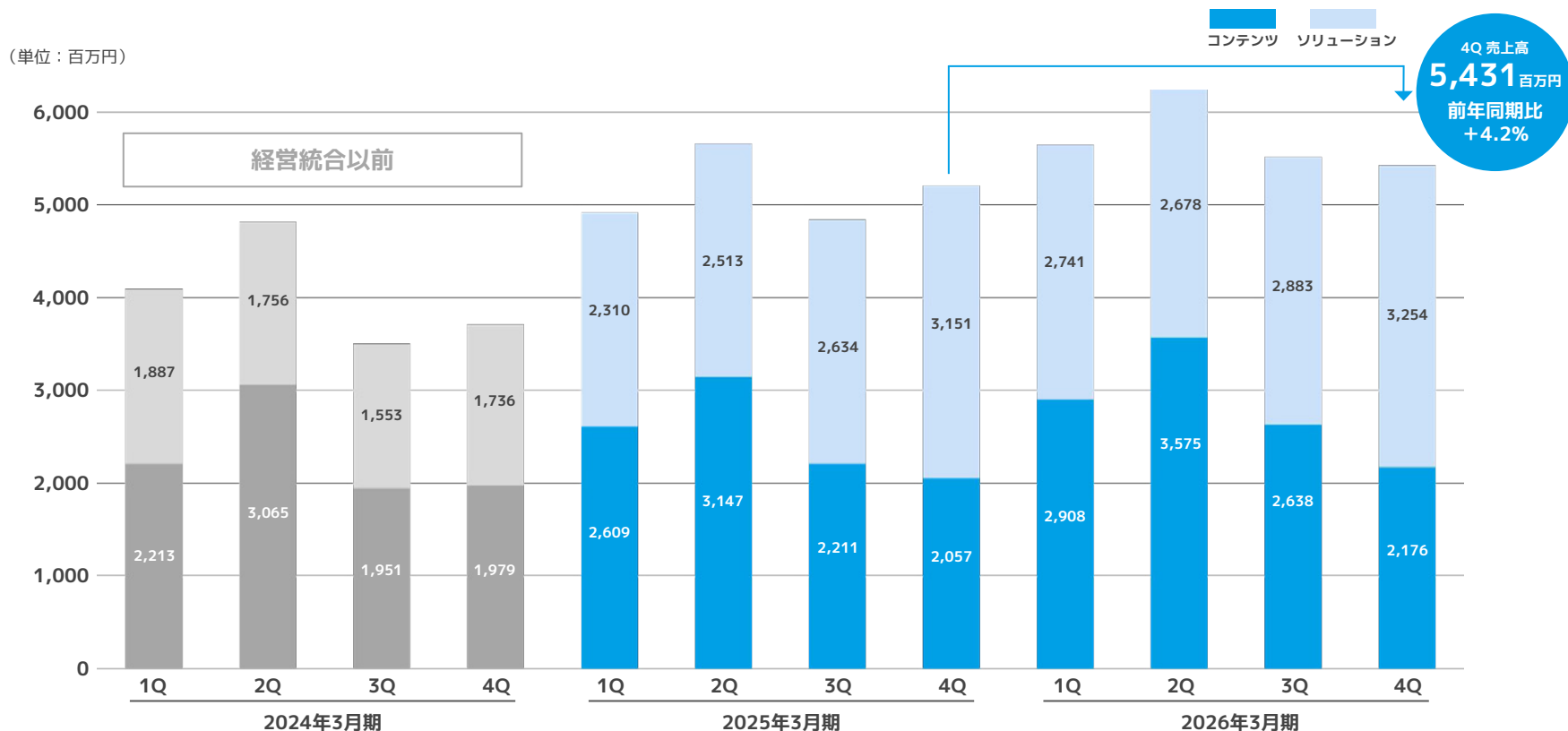
売上高の推移



セグメントごとの売上高の推移は以下の通り。

コンテンツ・ソリューションの各セグメントともに好調で、前年同期比+4.2%増加の5,431百万円となり、4Qにおける過去最高額を記録。

※2024年3月期のソリューションセグメントの売上高は、会計方針の変更に伴う遡及適用後の数値を記載。



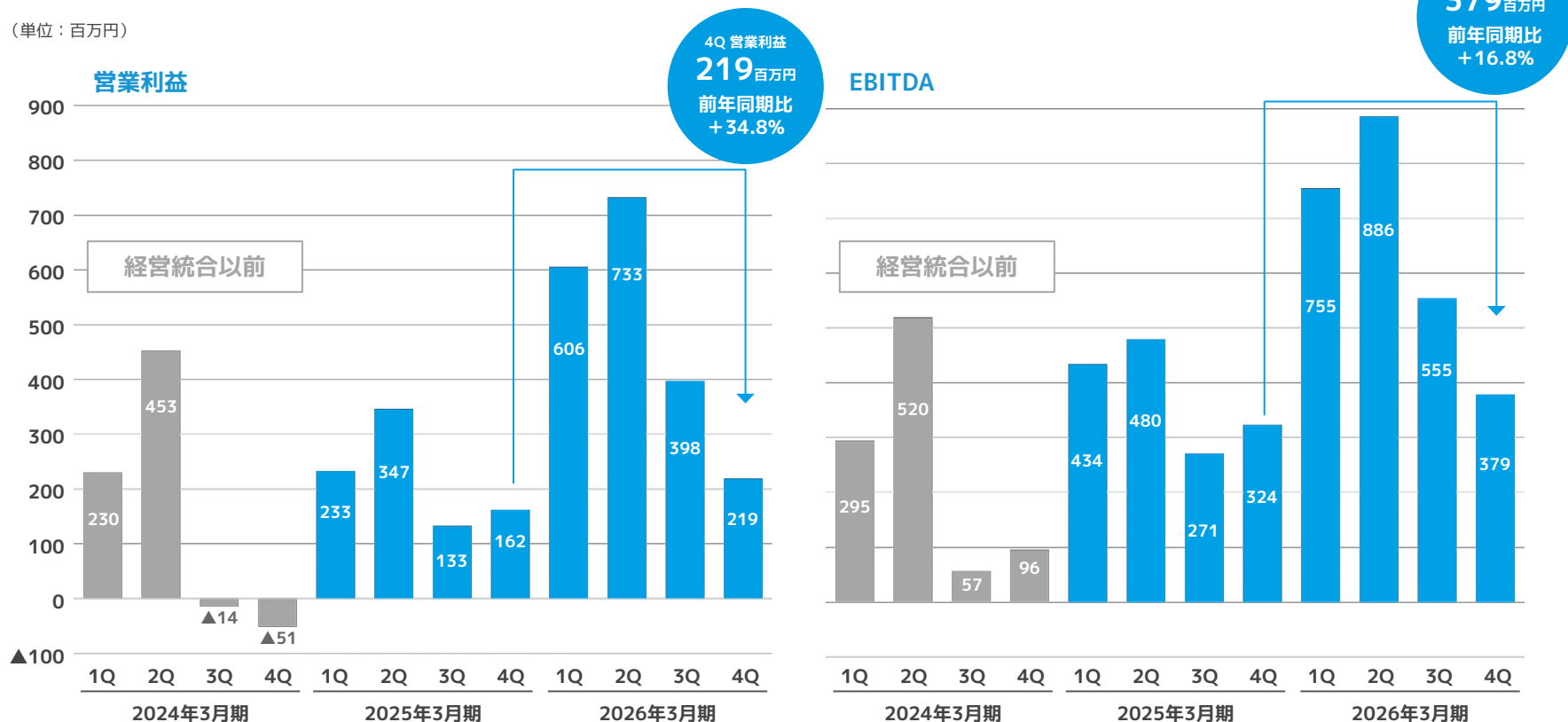
営業利益とEBITDAの推移



営業利益とEBITDAの推移は以下の通り。

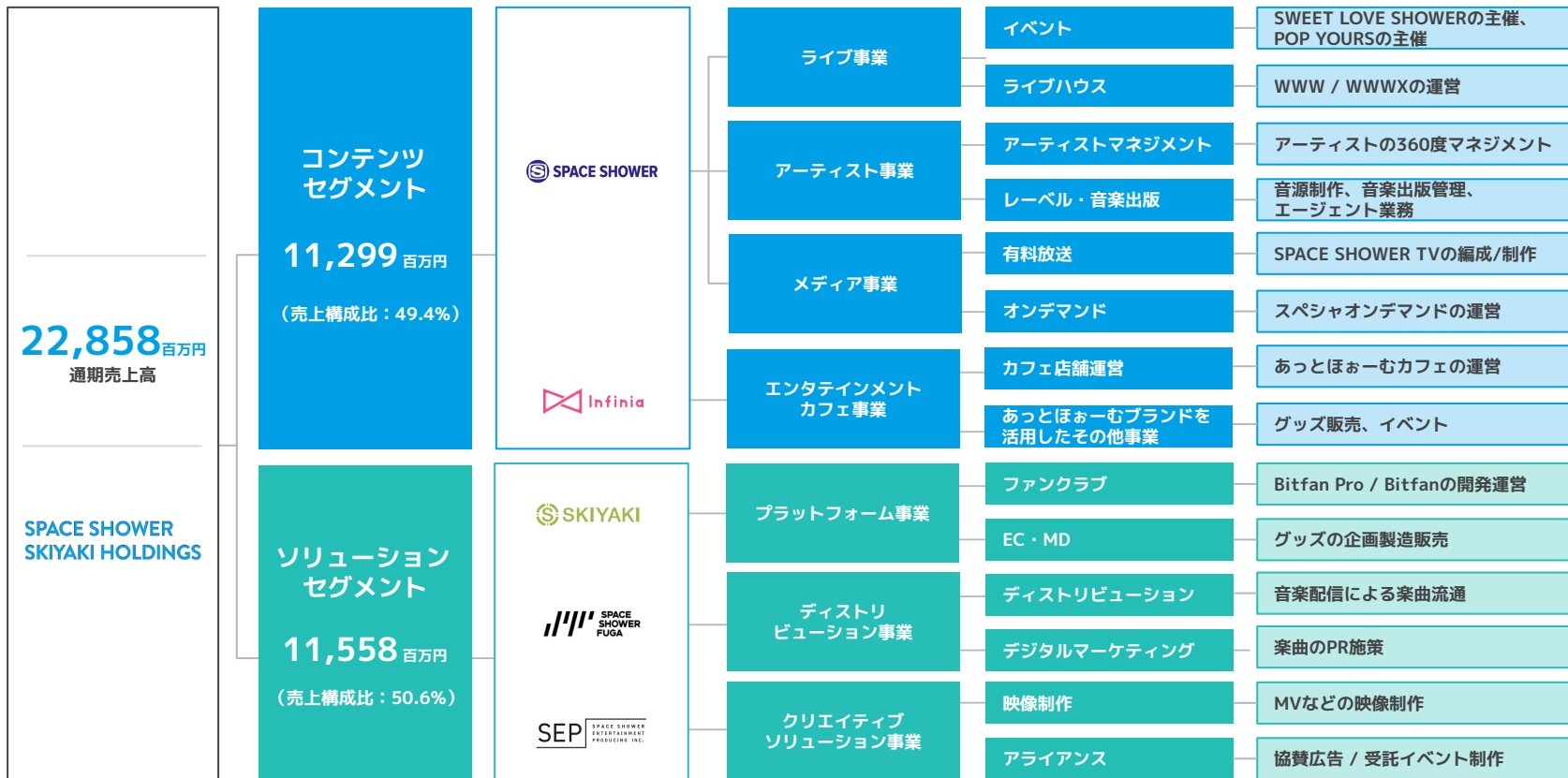
営業利益は前年同期比+34.8%増の219百万円、EBITDAは前年同期比+16.8%増の379百万円となった。

(単位：百万円)



セグメント区分と売上構成比

当グループは事業会社を「コンテンツセグメント」と「ソリューションセグメント」の2つに分類しており、各セグメントの売上高と関連する事業の詳細を記載した図は以下の通り。



※株式会社スペースシャワーネットワークの事業には、ソリューションセグメントにおけるディストリビューション事業の一部を含む。

セグメントごとの売上高、利益、EBITDA



HD傘下の各セグメントの売上高、利益、EBITDAは以下の通り。

売上高はライブ・コンテンツ事業、プラットフォーム事業、ディストリビューション事業が牽引。

※なお、各セグメントの合計値は連結修正後の数値。

コンテンツセグメント

(単位：百万円)		通期	前期	YoY
売上高	ライブ事業	3,063	2,603	+17.7%
	アーティスト事業	2,258	1,322	+70.8%
	メディア事業	2,309	2,787	△17.1%
	エンタテインメントカフェ事業	3,667	3,313	+10.7%
	合計	11,299	10,026	+12.7%
セグメント利益		1,298	757	+71.3%
セグメントEBITDA		1,592	1,007	+58.1%

ソリューションセグメント

(単位：百万円)		通期	前期	YoY
売上高	プラットフォーム事業	4,017	3,488	+15.2%
	ディストリビューション事業	4,925	4,757	+3.5%
	クリエイティブソリューション事業	2,615	2,365	+10.6%
	合計	8,304	7,458	+8.9%
	セグメント利益		660	121
セグメントEBITDA		985	505	+94.8%

主要グループ会社の売上高、営業利益、EBITDA



HD傘下の主要グループ会社の売上高、営業利益、EBITDAは以下の通り。

主要グループ会社においては、株式会社スペースシャワーネットワークと株式会社SKIYAKIが共に前年同期と比べて好調に推移。

※なお、各社の実績は連結消去前の単体数字。

(単位：百万円)	スペースシャワーネットワーク			SKIYAKI			インフィニア		
	通期	前期	YoY	通期	前期	YoY	通期	前期	YoY
売上高	11,323	11,421	▲0.9%	4,074	3,192	+27.6%	3,735	3,328	+12.2%
営業利益	975	205	+374.1%	617	376	+64.0%	318	290	+9.8%
EBITDA	1,137	419	+171.3%	661	413	+60.2%	437	374	+16.9%

3. 2027年3月期業績予想

2027年3月期の業績予想



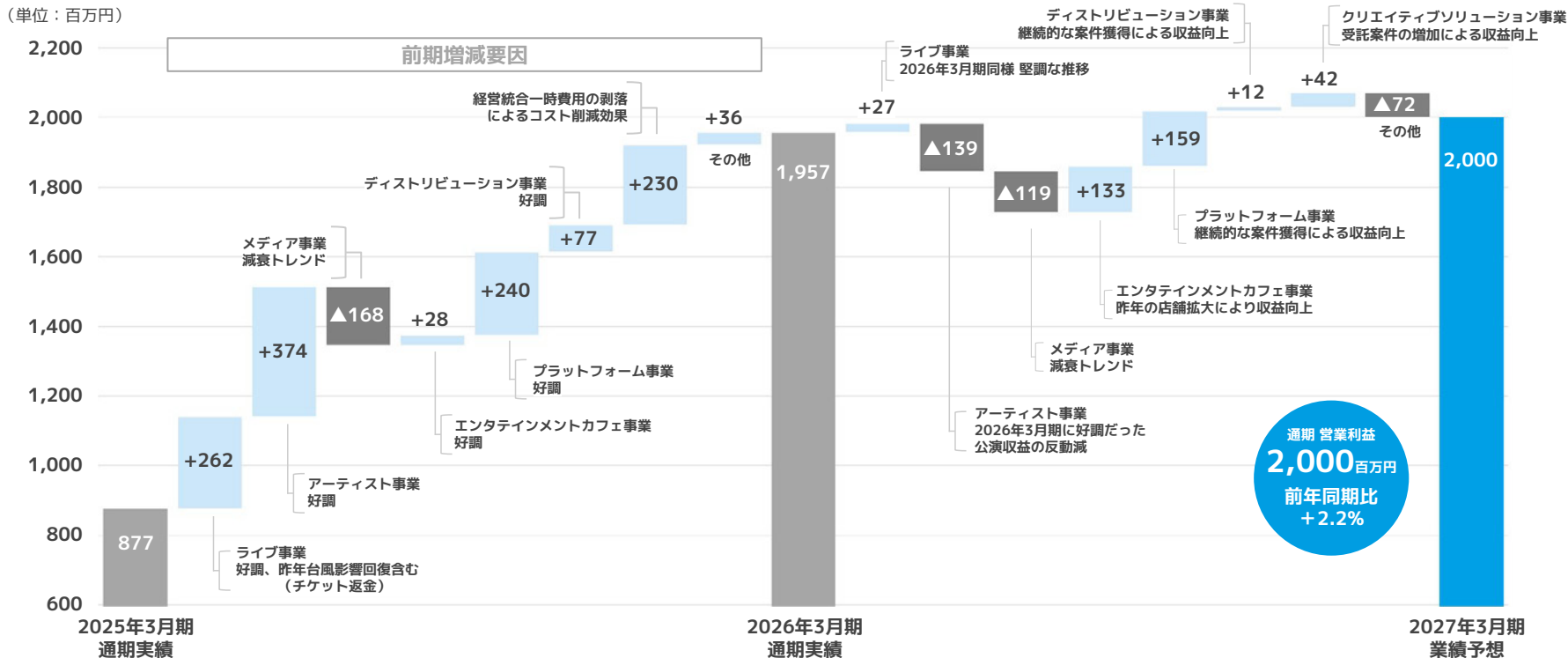
2024年11月13日に公表した中期経営計画「Ignite 2027」の2年目となる来期の業績予想は、全体としては微増となり、売上高23,000百万円、営業利益2,000百万円、経常利益2,050百万円、当期純利益は1,220百万円、1株当たり年間配当金は配当性向40～50%を目標に30円を予定。中東地域をはじめとする地政学的リスクの高まりが当社の業績に与える影響は軽微ではあるが、アーティスト活動のスケジュール変化に伴いコンテンツセグメントの収益が一時的に減少するため、ソリューションセグメントの収益拡大により補完することで、今期同等の実績を見込んでいる。

(単位：百万円)	2026年3月期 通期実績	2027年3月期 業績予想	増減額	増減率
売上高	22,858	23,000	+141	+0.6%
営業利益	1,957	2,000	+42	+2.2%
経常利益	2,004	2,050	+45	+2.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,197	1,220	+22	+1.8%
1株当たり当期純利益	73円14銭	75円73銭	-	-
EBITDA	2,576	2,620	+43	+1.7%
1株当たり年間配当金	25円	30円	5円	-

業績予想の増減要因



ライブ事業は前期同様堅調な推移を見込んでいるが、アーティスト活動の端境期となるアーティスト事業及び減衰トレンドにあるメディア事業で減益見込み。一方で、エンタテインメントカフェ事業は前期の店舗拡大により収益向上が見込まれ、プラットフォーム事業、ディストリビューション事業、クリエイティブソリューション事業についても、継続的な案件獲得により収益向上を見込んでいる。結果として、今期実績の営業利益1,957百万円に対して来期は2,000百万円を予定。



4. 中期経営計画の定量目標改定について

中期経営計画の上方修正について

前回公表した中期経営計画で掲げた2028年3月期の利益目標を今期に前倒しで達成したことを受け、2028年3月期の経営目標を引き上げ。

単位：億円	2028年3月期経営目標 (2024年11月13日公表)	2026年3月期実績	2028年3月期経営目標 (2026年5月14日公表)
売上高	240 億円	228.5 億円	260 億円
営業利益	16 億円	19.5 億円	24 億円
EBITDA	22 億円	25.7 億円	30 億円
ROE	10 %超	14.2 %	15 %超

主要グループ会社の業績目標



中期経営計画期間におけるHD傘下の主要グループ会社の売上高、営業利益、EBITDA目標数値は以下の通り。

株式会社スペースシャワーネットワークは2027年3月期に一度減益となるが、2028年3月期に向けて再び増益を目指し、株式会社SKIYAKIとインフィニア株式会社については、2027年3月期、2028年3月期共に増収・増益を目指す。

※なお、各社の実績は連結消去前の単体数字。

(単位：百万円)	スペースシャワーネットワーク			SKIYAKI			インフィニア		
	2026年 3月期	2027年 3月期	2028年 3月期	2026年 3月期	2027年 3月期	2028年 3月期	2026年 3月期	2027年 3月期	2028年 3月期
売上高	11,323	10,400	11,500	4,074	4,533	4,900	3,713	4,000	4,500
営業利益	975	700	1,000	617	777	852	318	452	550
EBITDA	1,137	857	1,150	661	836	904	437	576	674

株主還元方針

2026年3月期～2028年3月期の中期経営計画期間中は、継続的な増配を行っていくことを最優先とし、連結配当性向35%～45%を目標に累進配当を継続することを基本方針としていたが、2027年3月期と2028年3月期については、自己株式の取得を継続しながら連結配当性向40%～50%を目標に累進配当を継続することで、株主還元の更なる充実を図っていく。

年間配当金

	目標配当性向	中間	期末	合計
2027年3月期（予定）	40%～50%	-	30円	30円
2028年3月期（予定）	40%～50%	-	-	-

自己株式取得進捗

	取得期間	株式数	取得価額総額
2027年3月期（進行中）	2025年12月～ 2026年11月	上限 200,000株	上限 200,000,000円
2028年3月期（予定）	2026年12月～ 2027年11月	上限 200,000株	上限 200,000,000円

※早期に株式数上限に達し、取得価額上限未達の場合、追加の取得枠決議を予定（取得価額総額の達成を重視）

5. 通期事業トピックス

コンテンツ



ライブ事業

- ・ イベント
- ・ ライブハウス

自社ブランドの大型イベント
「SWEET LOVE SHOWER」
「POP YOURS」を主催

渋谷スペイン坂のライブハウス
「WWW」「WWW X」を運営

主催大型フェスティバル 全日程・全券種ソールドアウト



SPACE SHOWER SWEET LOVE SHOWER 2025
- 30th ANNIVERSARY -
■日時：2025/8/29~31
■会場：山梨県 山中湖交流プラザ きらら



POP YOURS 2025
■日時：2025/5/24,25
■会場：幕張メッセ国際展示場 9-11ホール

当社主催の大型フェスティバルである、毎年8月に開催される人気野外フェスティバル『SWEET LOVE SHOWER』と、国内最大級のヒップホップフェスティバル『POP YOURS』が、いずれも全日程全券種がソールドアウトにて公演が行われた。

今回で開催30周年を迎えた『SWEET LOVE SHOWER』は過去最高の8.5万人、『POP YOURS』は3.5万人を動員した。

WWW 15周年アニバーサリーイベント



2025年11月に15周年を迎えたライブハウス「WWW」が15周年企画として全9公演を実施。

ジャンルを超えたアーティストの共演や、海外の世界最大級フェス出演の日本人DJの公演、海外アーティストの招聘など、特別なプログラムの公演が敢行された。

WWW 15th Anniversary
■日時：2025/9/25 ~ 11/22
■会場：SHIBUYA WWW・WWW X

POP YOURS 2026 オリジナル楽曲



『こんな日は』
LANA, Elle Teresa
/ Prod. by STUTS & ZOT on the WAVE
■リリース：2026/3/18
■総再生回数：200万回（3月末時点）



『STARLIGHT』
Kianna, HARKA, AOTO, Siero
/ Prod. by KM
■リリース：2026/3/4
■総再生回数：210万回（3月末時点）



『違う』
Daichi Yamamoto, MIKADO, NENE
/ Prod. by KM
■リリース：2026/3/11
■総再生回数：104万回（3月末時点）

コンテンツ



アーティスト事業

- ・アーティストマネジメント
- ・レーベル・エージェント

マネジメントやエージェントを担当するアーティストが各方面で活躍。大規模公演、各地のフェス出演などで大きな話題を呼ぶ。

Suchmos

5年8ヶ月振りに活動再開し、2日間の復活公演に20万件超のチケット応募。リリースに伴う国内外ツアーも敢行。



2025年6月の活動再開後初のライブを皮切りに、約6年ぶりのリリース、国内外ツアーを敢行。

いずれの公演もチケットソールドアウトとなり、大きな反響を呼んだ。

『The Blow Your Mind 2025』

活動再開後 初公演

■日時：2025/6/21,22

■会場：横浜アリーナ

『Asia Tour Sunburst 2025』

国外4公演含む 全14公演ツアー

■日時：2025/10/29 ~ 12/13

■会場：横浜,福岡,大阪,広島,札幌,仙台,名古屋,富山,東京
ソウル,上海,台北,バンコク

『STAY TUNE』総再生数 1億回突破
日本レコード協会プラチナ認定



2016年リリースの大ヒット楽曲『STAY TUNE』が配信での総再生数が1億回を突破する快挙を達成。一般社団法人日本レコード協会の発表するストーリーミング認定において「プラチナ認定」を獲得。

『STAY TUNE』

■リリース：2016年1月13日

ハンバート ハンバート

朝ドラ主題歌採用、ベストアルバムリリース
NHK紅白歌合戦初出場！



ハンバート ハンバートのリリース楽曲『笑ったり転んだり』がNHK連続テレビ小説「ばけげん」の主題歌に採用。

11月には同楽曲も収録された初の公式ベストアルバム『ハンバート入門』をリリース。

12月には第76回NHK紅白歌合戦に初出場を果たした。

『笑ったり転んだり』

■リリース：2025/10/1

ベストアルバム『ハンバート入門』

■リリース：2025/11/26

STUTS 「ポカリスエット」CM採用 自身最大規模アリーナ単独公演敢行



楽曲『99 Steps (feat. Kohjiya & Hana Hope)』が大塚製薬「ポカリスエット」CM曲に採用。

9月には初のアリーナ公演かつ、単独公演としては自身最大規模のライブを敢行した。

STUTS "Odyssey" at K-Arena Yokohama

■日時：2025/9/23

■会場：Kアリーナ 横浜

コンテンツ



メディア事業

- ・ 有料放送
- ・ オンデマンド

日本最大の音楽専門チャンネル
「スペースシャワーTV」を運営

V.I.P. 注目アーティストの特集番組

スペースシャワーTVが総力をあげて制作する最重要プログラム「V.I.P.」。毎月、人気と実力を兼ね備えたトップアーティストを招き、撮り下ろしオリジナル番組を独占放送。



4月：サザンオールスターズ



5月：[Alexandros]



6月：GRAPEVINE



7月：RIP SLIME



8月：Suchmos



9月：Perfume



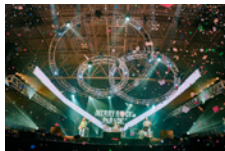
10月：RADWIMPS



11月：マカロニえんぴつ



12月：高橋優



1月：SHISHAMO



2月：くるり



3月：ゆず

スペースシャワーTV オリジナル特番

ツアードキュメント、夏フェス特番などをオンエアし、大きな話題となる。



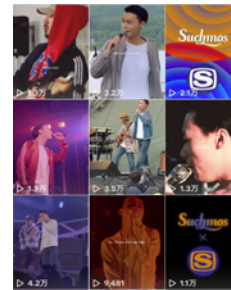
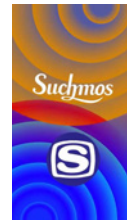
BRAHMAN
30th Anniversary
「忌未来祭 2025」
■放送：2026/1/29、2/5、3/12



SPACE SHOWER
SWEET LOVE SHOWER 2025
30th ANNIVERSARY
■放送：2025/12/2,9,16

Suchmos 応募20万件超の復活公演 横浜アリーナ公演を独占生中継

過去に出演した特番映像をSNSで拡散するなど、生放送に向けた様々なプロモーションも実施。



■放送
：2025/6/22 17:00～

コンテンツ



エンタテインメントカフェ事業

- ・カフェ店舗運営
- ・あっとほおーむブランドを
活用したその他事業

東京・大阪・名古屋に13店舗を展開

2026年3月期 来店者数

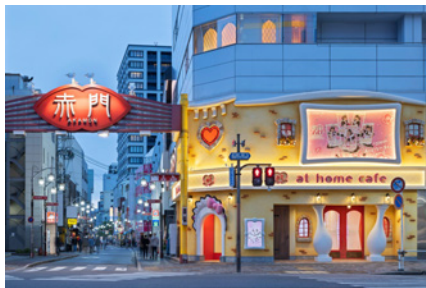
88.3万人

前期比
+14.9%

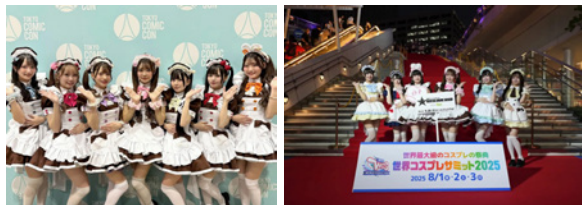
今期の来店者は883,447名で
前期比114.9%と好調に推移。
うち訪日外国人観光客は90,688名で
前期比109.4%。

名古屋大須本店オープン

中京地区初となる名古屋大須へ2店舗を同時出店。
“メイドの日”5月10日にグランドオープン



イベント出演



- ・8月1日、世界最大級のコスプレの祭典「世界コスプレサミット2025」前夜祭「コスサミ前夜祭 名古屋芸術大学 presents レッドカーペットセレモニー」に参加。
- ・12月6日、世界中のポップカルチャーが集結する「東京コミコン2025」特設リングステージにてスペシャルライブを披露。

POP-UPイベント開催

大阪心斎橋、福岡博多にて出張お給仕（POP-UP）を実施



10月24日～11月9日大阪心斎橋
PARCOにて、「あっとほおーむ
カフェ × SHINSAIBASHI PARCO
POP-UP event」開催。

2025年 12月1日～12月14日、
初上陸となる福岡、博多マルチ
にて、出張お給仕（POP-UP）
カフェを開催。

NHK「ドキュメント72時間」

「あっとほおーむカフェAKIBAカルチャーズZONE店」が
NHKの「ドキュメント72時間」の密着取材を受けました。

- 番組名：NHK「ドキュメント72時間」
- 放送時間：12月12日（金）22：00～22：30
- 再放送：12月27日（土）9：30～10：00
- 見逃し配信：[NHK ONE](#)

ソリューション



プラットフォーム事業

- ・ファンクラブ
- ・EC、MD

アーティスト、俳優、声優、アイドル、ラジオ番組、スポーツ選手、キャラクターなど、様々なジャンルで新規のFCサイトや公式アプリがオープン。

有料会員数

※2026年3月末現在

170.7万人

(前年同期比 +38.2万人 / +28.8%)

FCサービス数

※2026年3月末現在

1,661

(前年同期比 +403 / +32.0%)

bitfan Pro



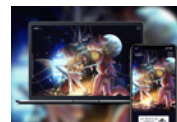
M!LK公式アプリ



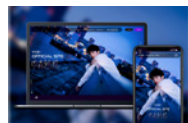
Da-iCE



GENIC



tuki.



中丸雄一



Tempalay



Hump Back

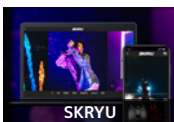


シャインポスト



可哀想に!

bitfan



SKRYU



斉藤朱夏



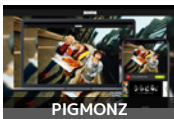
来栖りん



齋藤潤



舞空瞳



PIGMONZ



PAO~N



鈴木祐大



馬場雄大



柳沢慎吾



ディストリビューション事業

- ・ディストリビューション
- ・デジタルマーケティング

クライアントからお預かりした楽曲を世界中のリスナーに最善の方法で届けるために、必要なツールやサービスを提供。

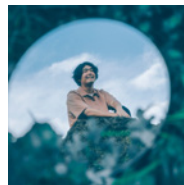
スペースシャワー関連のアーティストが活躍

Suchmos



2016年リリースの大ヒット楽曲『STAY TUNE』が配信での総再生数1億回を突破する快挙を達成。

STUTS



楽曲『99 Steps (feat. Kohjiya & Hana Hope)』が大塚製薬「ポカリスエット」CM曲に採用。

ハンバート ハンバート



NHK連続テレビ小説「ばけげん」の主題歌に採用された楽曲『笑ったり 転んだり』を収録した、ベストアルバム『ハンバート入門』がヒット

米ビルボード誌
【2026 Global Power
Players】にSPACE
SHOWER FUGA
田中聡代表取締役が選出



ストリーミングサービス再生数 (Meta / TikTok除く) ※2026年3月期累計

国内再生数

53.8億回再生

(前年同期比 Δ 5.0%)

海外再生数

29.3億回再生

(前年同期比 +62.2%)

ソリューション



クリエイティブ ソリューション事業

- ・映像制作
- ・アライアンス

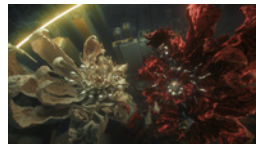
アーティストのミュージックビデオ、企業・自治体ムービー等の映像制作に加え、自治体との協力や企業のニーズに応えた様々なイベント企画・制作を実施。

各イベントレポートなども掲載し、多様なカルチャーにフォーカスしたマルチメディア「EYESCREAM」の運営。

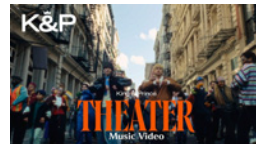
映像制作



ASIAN KUNG-FU GENERATION
『おかえりヨニー』MV



キタニタツヤ feat. BABYMETAL
『かすかなはな』MV



King & Prince
『Theater』MV



SUPER EIGHT
『超DOME TOUR 二十祭』LIVE

アライアンス

FUKUOKA MUSIC FES.2026

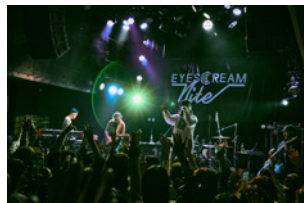


株主優待 対象イベント

「福岡ソフトバンクホークス」「BEAMS」と共にプロデュースする大型屋内フェスティバル。2日間で約5万人を動員した。

- 日時：2026/1/24,25
- 会場：みずほPayPayドーム福岡

EYESCREAM NITE VOL.3



自社メディア「EYESCREAM」が主催するライブイベント。出演アーティストの対談を行い、メディアとライブが運動したイベントとなった。

- 日時：2026/3/19
- 会場：Veats Shibuya

GFEST.2025



「音楽のある街」を掲げる群馬県完全サポートのイベント。今回で3回目の開催となり、2日間で約2万人を動員した。

- 日時：2025/11/22,23
- 会場：Gメッセ群馬

SILENT BLOCK PARTY by Technics



“Technicsの新しい挑戦”として、入場時に配布された同社製イヤホンに直接サウンドを届けるという仕組みで行われたクラブイベント。

- 日時：2026/3/2
- 会場：渋谷THE ROOM

6. 会社概要

会社名	スペースシャワー-SKIYAKIホールディングス株式会社
本社所在地	東京都渋谷区道玄坂2-25-12 道玄坂通
設立	1996年12月24日
決算期	3月
資本金	100百万円
連結従業員数	351名
役員構成	代表取締役社長 林 吉人 取締役副社長 小久保 知洋 取締役副社長 名取 達利 取締役 北島 直樹 取締役 酒井 真也 取締役 廣田 政智 取締役（監査等委員） 長谷川 裕朗 社外取締役（監査等委員） 丸山 聡 社外取締役（監査等委員） 井上 昌治
主な連結子会社	株式会社スペースシャワーネットワーク スペースシャワーエンタテインメントプロデュース株式会社 株式会社SKIYAKI インフィニア株式会社 株式会社SPACE SHOWER FUGA

EMPOWER ARTISTS & CREATORS, ENRICH FAN EXPERIENCE

Our Mission

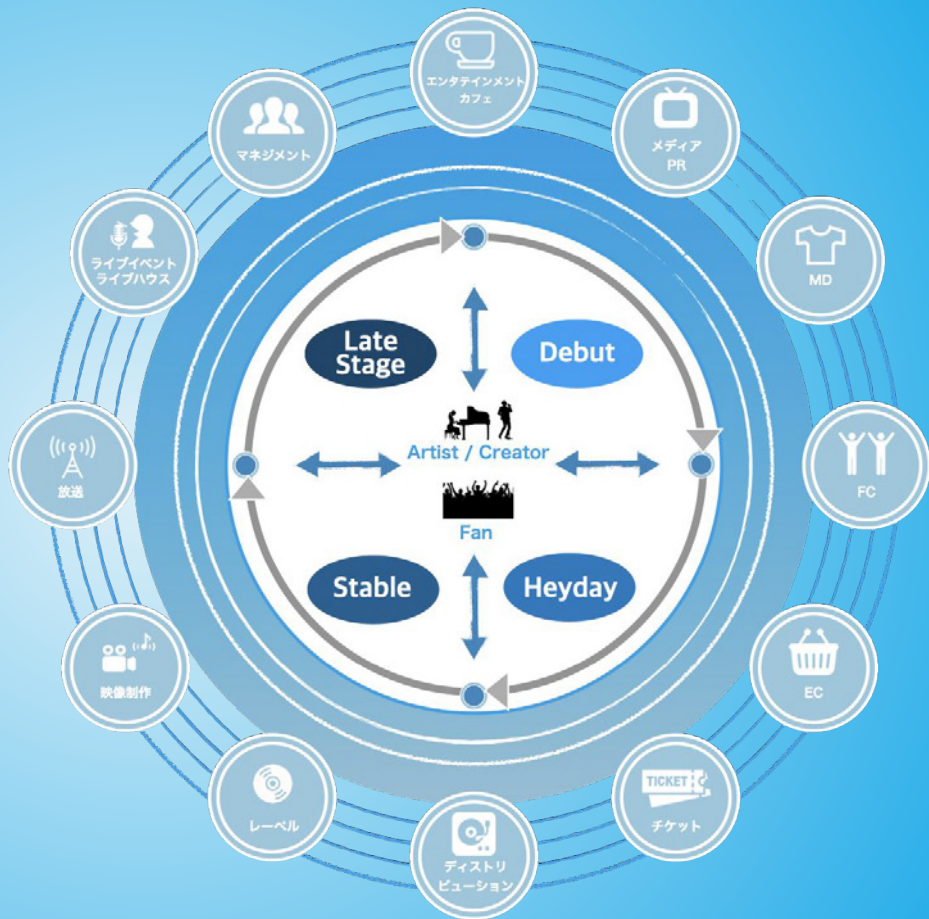
我々が住むこの社会を持続可能なものにするために、文化や価値観の多様性を育むことが求められています。

音楽をはじめとしたエンタテインメント業界で活動する当社グループは、さまざまなバックグラウンドを持つアーティストやクリエイターたちと共に、豊富な文脈をもった良質なコンテンツを提供し、ユーザーの心に感動を生み出すことで、人々の内面世界に彩りを与え、文化・芸術、そして社会の多様性の実現に貢献してまいります。

また、個人へのパワーシフトが進む社会の変化に対応して、幅広いジャンルで活躍するアーティストやクリエイターたちが、豊かにそして長くその活動を続けられるように、利便性の高いソリューションを360°で提供し、表現活動をする人たちの裾野を広げ、その価値を高めていくことが我々の社会的使命だと考えています。

SPACE SHOWER SKIYAKI HOLDINGS

<p>ライブ事業 アーティスト事業 メディア事業</p>	<p>プラットフォーム事業</p>
<p>クリエイティブ ソリューション事業</p>	<p>エンタテインメントカフェ事業</p>
<p>ディストリビューション事業</p>	



当グループは、事業会社を「コンテンツセグメント」と「ソリューションセグメント」の2領域に分類し、それぞれの強みを活かして多角的な事業を展開している。コンテンツセグメントでは、ライブ事業、アーティスト事業、メディア事業、エンタテインメントカフェ事業を中心に、独自のコンテンツ価値を創出し、ソリューションセグメントでは、プラットフォーム事業、ディストリビューション事業、クリエイティブソリューション事業を中心に、サービス提供を通じてクライアントの持続的な成長と企業価値の最大化を支援している。

コンテンツ

主に「自社で企画プロデュースするオリジナルコンテンツをユーザーに提供」する事業



- ライブ事業
イベント、ライブハウス
- アーティスト事業
アーティストマネジメント
レーベル・音楽出版
- メディア事業
有料放送、オンデマンド

「SWEET LOVE SHOWER」等の主催イベントの企画運営
ライブハウス「WWW」「WWW X」の運営
当社所属アーティストのマネジメント業務
原盤・出版の創出、旧譜・IPの利活用及びエージェント業務
「スペースシャワーTV」の運営
「スペースシャワーオンデマンド」の運営

- エンタテインメントカフェ事業
カフェ店舗運営
あっとほーむブランドを
活用したその他事業

「あっとほーむカフェ」の運営
グッズ販売、イベント

ソリューション

主に「クライアントの課題解決のためにサービス提供」を行う事業



- プラットフォーム事業
ファンクラブ
EC、MD

ファンクラブなどの
プラットフォーム開発・提供
ファンクラブサイトの運営
グッズの企画制作やECサイトの運営

- ディストリビューション事業
ディストリビューション
デジタルマーケティング

音楽配信やパッケージを
通じた楽曲等の流通
楽曲のPR施策

- クリエイティブ
ソリューション事業
映像制作
アライアンス

音楽ライブの映像収録や
ミュージックビデオの映像制作
協賛広告の獲得や
他社とのコンテンツの共同制作

※株式会社スペースシャワーネットワークの事業には、ソリューションセグメントにおけるディストリビューション事業の一部を含む。

- 本資料には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本資料の記載と著しく異なる可能性があります。
- 別段の記載がない限り、本資料に記載されている財務データは日本において一般的に認められている会計原則に従って表示されています。
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示原則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。
- なお、本資料のいかなる部分も一切の権利は当社に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

お問い合わせ窓口

ir@sssk-hd.com

SPACE SHOWER SKIYAKI HOLDINGS